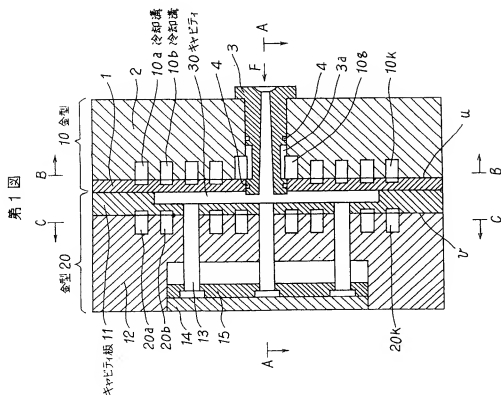


- 1 …… 固定側キャビティ板
 2 …… 固定側金型本体
 3 …… スプループッシュ
 3a …… 冷却水路 10 …… 固定側金型
 10a, 10b …… 10k …… 冷却溝
 11 …… 可動側キャビティ板
 12 …… 可動側金型本体
 13 …… 突出しピン 20 …… 可動側金型
 20a, 20b …… 20k …… 冷却溝
 30 …… キャビティ u, v …… 接合面

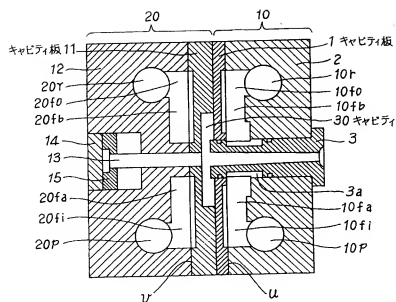
特許出願人 三菱重工株式会社
 代理人 弁理士 唐 木 貴



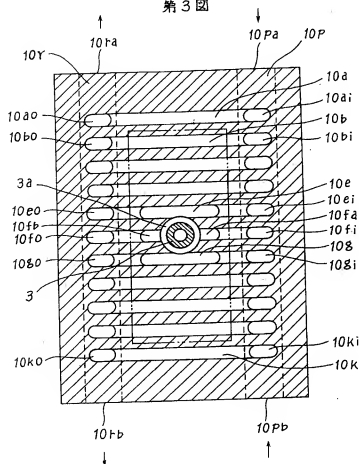
15



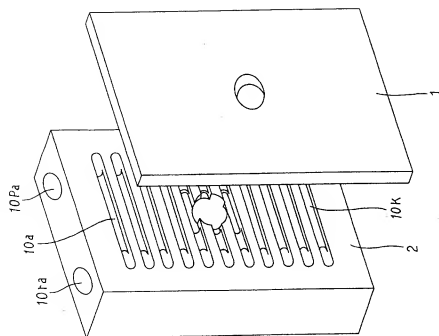
第 2 図



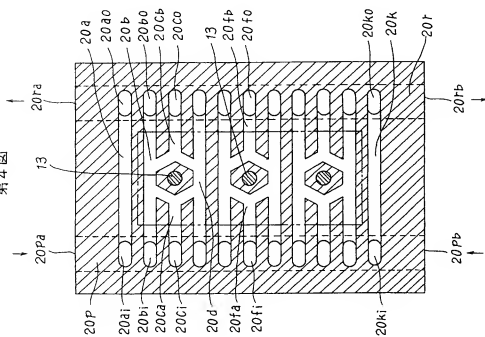
第 3 図



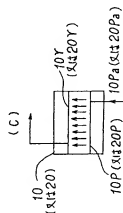
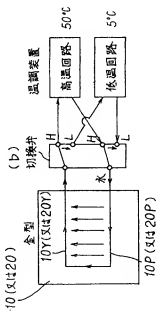
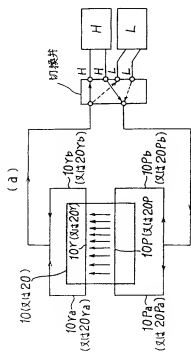
第 5 圖



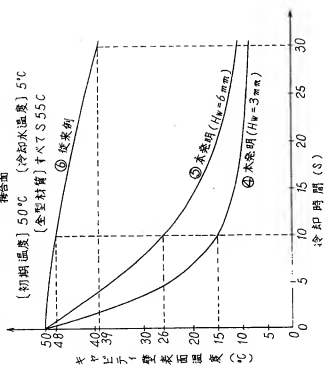
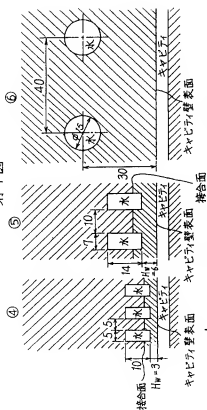
第 4 圖



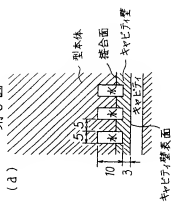
第 6 図



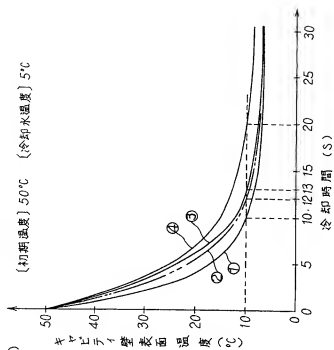
第 7 図



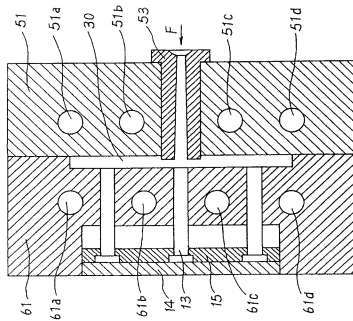
第 8 図



(b)



第 9 図



手 続 補 正 書

平成 2 年 9 月 10 日

特許庁長官 檀 松 敏 殿

1. 事件の表示

特願平 2-203389 号

2. 発明の名称

金 型

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目 5 番 1 号

名 称 (620) 三菱重工業株式会社

4. 代 理 人

住 所 東京都千代田区猿樂町2-4-2(小黑ビル)

氏 名 (6854) 弁理士 唐 木 貴

5. 補正命令の日付 自 発

6. 補正の対象

発明の詳細な説明の欄

7. 補正の内容

別紙記載の通り

補正の内容

1. 明細書第11頁第1行目の「ある。」の記載の後に次の記載を挿入する。

「また温度分布の調整のために、熱媒体通路の抵抗に変化を持たせることも可能である。」

以 上

